

令和5年度第3回釜石市文化財保護審議会の開催結果について

1 開催日時 令和6年3月26日(火)午前10時30分～12時00分

2 開催場所 釜石市民ホール TETTO スタジオ A

3 委員出席状況

委員 15 名中 15 名が出席した。

1) 出席委員 川原清文会長、久保知久副会長、河東直江委員、鱒沢トモ子委員、千葉愛子委員、市川淳子委員、瀬戸元委員、藤井サエ子委員、山崎倫昭委員、藤井静子委員、松本武委員、藤原信孝委員、加藤良司委員、佐々木光寿委員、千葉まき子委員

2) 欠席委員 なし

4 事務局出席者

高橋勝教育長、白澤渉文化スポーツ部長、佐々木豊文化振興課長、手塚新太課長補佐兼文化財係長、加藤幹樹主任

5 オブザーバー 笹村聡一世界遺産課長

6 傍聴者 なし

7 協議経過

1) 開会

2) 教育長挨拶(高橋教育長)

3) 会長挨拶(川原会長)

4) 議案審議(進行:川原会長)

(1) 議事1「釜石市文化財保存活用地域計画について」

<協議内容・経過>

事務局から「釜石市文化財保存活用地域計画について」資料に基づき説明した。

- ・事務局 委員の皆様からアンケート等でご意見を頂いた釜石市の歴史文化の全体像は「自然・人・鉄の歴史文化が融合したまち 釜石」に決定したことを報告する。
- ・川原会長 事務局から説明と報告があったが、皆様からのご意見等をお聞きしたい。
- ・瀬戸委員 歴史文化の全体像が「自然・人・鉄の歴史文化が融合したまち 釜石」とあるのに、人口の推計として令和32年に16,363人まで減少することを記載する必要があるのか疑問に思う。
- ・事務局 釜石市文化財保存活用地域計画協議会では、人口の推計を入れることについて一定の評価を得ている。この推計を見ながら今後の釜石の方向性を考える必要があり、このまま掲載したい。
- ・川原会長 この推計値が現実であり、重くとらえたい。そのほか特になければ本議題を終了する。
- ・委員 異議なし。

(2) 議事2「釜石市指定文化財に係る諮問について」

<協議内容・経過>

- ・事務局 釜石市教育委員会から「大沢川流域の古生界化石産出露頭群」が市の指定文化財に相応しいか諮問があった。このことについて議論していただきたい。事務局及び担当の藤原委員から説明を行う。
- ・事務局から資料に基づき説明した。
- ・担当の藤原委員から資料に基づき説明した。
- ・事務局 本諮問は、令和6年3月18日付釜文発第139号「釜石市指定文化財の指定に係る釜石市文化財保護審議会の答申について」の通知を、釜石市教育委員会の高橋教育長から、川原会長宛てに頂いているものである。
- ・川原会長 事務局と藤原委員から説明があった。本件についてはこれまでに何度も議論しているところである。皆様からのご意見を伺いたい。
- ・事務局 前回ご指摘のあった露頭の面積については、令和5年12月15日に手塚課長補佐と加藤主任が簡易測量を行ったもので、佐々木文化振興課長、藤原委員、千葉愛子委員、商工観光課の高橋主事補が同行した。同じく前回ご指摘のあった、古生界と表現することについては、古生代の地層ということで問題ないことを申し添える。
- ・川原会長 「大沢川流域の古生界化石産出露頭群」を指定することにご異議はないか確認したい。
- ・委員 異議なし
- ・川原会長 異議なしと認め、「大沢川流域の古生界化石産出露頭群」を釜石市指定文化財に相応しいとして、速やかに指定するよう釜石市教育委員会に答申することとする。なお、事務局では指定に必要な手続きを進めるようお願いする。
- ・事務局 了承した。

(3) 議事3「釜石指定文化財推進物件について」

<協議内容・経過>

- 事務局から「釜石市指定文化財推進物件について」資料に基づき説明した。
- ・川原会長 事務局から説明があったが、皆様からのご意見等をお聞きしたい。
- ・瀬戸委員 指定推進物件の松倉太神楽は良いが、保存団体である松倉町内会では松倉虎舞も行っており、同様に指定推進物件に価すると思う。
- ・事務局 松倉虎舞も松倉太神楽同様に江戸時代から続くとお聞きしている。調査が必要であるが指定推進物件に追加することに問題はない。また、前回の審議会で瀬戸委員から推薦のあった八雲神楽については、保存団体に打診したところ、演目の復活を目指しており軌道に乗ってから検討していただきたいと回答を得ている。
- ・川原会長 松倉虎舞を指定推進物件に記載することとしたい。また、八雲神楽の動向は心強く思う。以上で、本議題を終了する。

(4) 議事4「その他」

<協議内容・経過>

事務局から議事4その他として「郷土芸能祭の結果について」及び「有形文化財公開事業の開催日程について」資料に基づき説明した。

- ・事務局 令和6年2月4日(日)に開催した第26回釜石市郷土芸能祭については皆様のご協力のもと入場者数700人と大盛況に終わることができた。委員の皆様のご協力に感謝する。市内から八雲神楽、小川しし踊り(市指定)、松倉太神楽、桜舞太鼓、神ノ沢鹿踊(市指定)、丹内神楽(市指定)、両石虎舞(市指定)、南部藩壽松院年行司支配太神楽(県指定)の8団体にご出演頂いた。存続の危ぶまれていた団体もご出演頂いており、郷土芸能祭の意義を感じえた。また、招聘団体の一戸の山伏神楽~高屋敷神楽~(県指定)については、世界遺産の所在する一戸町の団体であるとともに、震災直後には慰問に釜石に来ていただいた縁もあり大変有難く、来場者からも好評であった。
令和6年度に予定している有形文化財については、令和7年2月1・2日(土・日)に釜石市民ホール TETTO ホール B を予定している。今回の文化財保護審議会の内容を固めたいと考えている。
- ・川原会長 事務局から郷土芸能祭の報告と有形文化財の実施予定について提案があったが、皆様からご意見を伺いたい。
- ・松本委員 本件ではないが、指定文化財の現状の把握状況を知りたい。また、鉄製品など劣化の進む文化財の保存等をどのように考えているか伺いたい。
- ・事務局 指定文化財の現状については、毎年3月に所有者から情報を頂いている。
- ・川原会長 指定以外の文化財については、その状況把握が難しいものと感じている。
- ・事務局 劣化の進む文化財や壊れた文化財の修復等については、以前は県立博物館にお願いすることが多かった。現在は保存科学を専門とする大学や国立の博物館、民間業者に見ていただきながら修復や保存について相談し、必要があれば対応するようにしている。
- ・川原会長 そのほか特になければ、審議を終了する。

5) その他

佐々木豊課長より、4月以降の体制について説明を行った。また、退職される白澤部長からご挨拶いただき、異動となる笹村世界遺産課長からもご挨拶いただいた。

6) 閉会